JOCV千葉OB会報

2021年8月
No. 99
夏号

1. 副会長挨拶

皆さん、初めまして。

千葉県 OB 会の副会長を務めさせて頂いております高梨直季と申します。青年海外協力隊としては、平成 22 年度 4 次隊としてパプアニューギニア（PNG）に村落開発普及員（今のコミュニティ開発）で派遣されていました。その後、開発コンサルタントとして途上国をフィールドに仕事をしています。「開発コンサルタントとは？」と思われた方も多いのではないでしょうか。開発コンサルタントとは、専門技術と経験を背景に、実際に途上国でさまざまな調査や具体的な作業を実施し開発援助プランをひとつひとつ実現していく、JICA 事業をはじめとした ODA 事業を進める途上国の専門家です。

COVID-19（コロナ）が世界に蔓延して 1 年半が経ち、開発コンサルタントとして少しずつではありますが途上国に渡航して業務を開始しています。今年に入ってアフリカ 3 か国で調査をしてきました。

ここまで読んで、現時点での途上国での業務の開始について、「日本国内が大変なのになぜ途上国の支援をするのか」、と「声には出せない思い」がある人もいるのではないでしょうか。今回は、せっかくの機会ですのでその「思い」に対する自分の気持ちをお伝えできればと思います。

日本国内が大変な状況にあるのは明白です。その中でなぜ途上国支援を継続して行うのか―それは、「先進国より途上国の方が大変だから支援している」というわけではありません。日本国内が大変な中でも途上国支援に関わり続ける理由は、それがコロナ終息後の「未来」につながるからです。そして、それが自分のできる最善のことだと思っているからです。

そもそも、なぜこの職業についているのか。それは日本国内の業務において自分よりも長けている人が多く、自分の能力・性格を活かせるのは途上国での業務だと考えているからです。そして、その途上国での業務が日本のより良い未来につながっていると信じているからです。

昨今、私たち協力隊経験者の知見を国内に生かす試みが多くなされています。それはコロナ禍においても課題となっている保健・衛生、教育、職業訓練、地域創生、若年層・高齢者支援などさまざまな分野で役立っています。自分の周りでも協力隊の知見を活かしこの難局を乗り越えるチャレンジをしている多くの方を知っています。協力隊経験者はコロナが猛威を振るっている「今」この場所を守るために必要な戦力だと思っています。そして、協力隊経験者は途上国におけるかけがえのない経験を持っているのも確かです。上述した「日本国内が大変なのになぜ途上国の支援をするのか」と考えるのは最もだと思いますし、日本国内が大変な状況下にあるのも存じています。しかし、だからこそ、協力隊が持つ「経験」を活用して、次の一手を、コロナ終息後の未来に向けて先んじて動くことも、私たち協力隊経験者の役割だと思っています。

コロナ終息後の未来はどのようになっているでしょうか。その未来をよりよくするために、「今」をよりよくする協力隊員、そして「未来」をよりよくする協力隊員、この「両輪」が国内外で求められているのではないでしょうか。どちらも欠けてはならない役割です。私は「未来」の片輪として動いていきます。皆さんはいかがでしょうか。

青年海外協力隊千葉ＯＢ会　副会長 高梨直季
（平成 22 年度 4 次隊 村落開発普及員　パプアニューギニア）

【アフリカの田園風景】

【現地機関との協議】

目次

1. 副会長挨拶
2. 報告事項
   1）2020 年度活動報告
   2）会計概要報告
   3）2021 年度活動計画
   4）イベント　『国際化教育推進フォーラム in 野田』（10 月 30 日）
3. 現地活動レポート（派遣中隊員寄稿）

2019-3	山崎　鉄平	カンボジア	体育教育	館山市
2019-2	鈴木　拓馬	カンボジア	柔道	千葉市
2019-3	古矢　恵	ヨルダン	障害児者支援	松戸市
2019-3	松岡　怜奈	ルワンダ	理科教育	千葉市

4. 会員レポート

平成 19-4	上橋　しほと	カメルーン	幼児教育	柏市

5. 年会費納入のお願い
6. 青年海外協力隊千葉ＯＢ会規約
7. 編集後記
8. お知らせ

2. 報告事項

1）2020 年度活動報告

新型コロナ感染症対策の影響のため、年度初め活動計画が中止/延期され、一部ではオンライン会議を実施しました。

月	日	曜	内　　容	備　　考
【2020 年】				
4	25	土	協力隊まつり 2020 応援オンラインイベント開催	出席：西村（国内外接続者 320 名以上）
5	16	土	日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会　総会	オンライン開催（国内接続者約 40 名）
6	20	土	JOCA 評議員会・JOCA 社員総会	出席：西村
8	4	火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	23	日	会報(No.97)発行	浦安市国際センターにて準備
10	9	金	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	10	土	JICA エッセイコンテスト 2020 集合審査	浦安市国際センター
11	10	火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
12	3	木	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	14	月	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
【2021 年】				
1	8	金	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	15 日～		会報(No.98)発行	浦安市国際センターにて準備
2	17	水	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	25	木	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	28	日	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村

3	2	火	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	8	月	協力隊まつり実行委員会オンライン打合せ	出席：西村
	20	土	千葉県 JICA 協力隊を育てる会 理事会	出席：西村

①JICA エッセイコンテスト 2020 について

2020 年度も中学生の部の一次審査を行いました。応募作品数は 2013 年度の 2,359 作品をピークに減少傾向が続いており、2020 年度は 444 作品でした。その中から一次審査通過作品として 1 作品と補欠の 1 作品を選び、二次審査に上げました。最終的に受賞したのは、個人賞が国内機関長賞 1、佳作 1 のほか、学校への特別学校賞 1 校という結果でした。2019 年度より受賞数が減少し、外務大臣賞や文部科学大臣賞などの優秀賞を受賞できなかったのは残念ですが、5 名の在宅審査員と 3 名の集合審査員にご協力いただき、無事に一次審査を終了することができました。

②その他

新型コロナ感染症の影響で、JOCV ナビ、グローバルキッチン、新派遣隊員/帰国隊員の県庁への表敬訪問や壮行会など、予定されていた行事の中止/延期が相次ぎました。

③2021 年度“協力隊まつり２０２１”

前年度の経験を踏まえてオンライン（Zoom）で開催され、当会は以下のスケジュールで OB・OG が参加しました。（敬称略）

4 月 24 日（土）		4 月 25 日（日）	
11:00 ～12:00	OB 隊員の対談会： 木村明日美（2017-2、青少年活動、キルギス） 佐藤秀樹（H13-3、野菜栽培、エクアドル）	11:00 ～12:00	派遣中隊員と OB 隊員との対談会： 山崎鉄平（2019-3、体育、カンボジア） 高橋克彰（H13-1、SE、シリア）
12:00 ～13:00	協力隊終了後の進路：JICA 特別嘱託 吉野佐和子（H23-1、青少年活動、セネガル）	12:00 ～13:00	協力隊終了後の進路：国際機関 伊藤常子（H20-3、空手、ヨルダン）
13:00 ～14:00	OB 隊員の対談会： 高橋克彰（H13-1、SE、シリア） 渡邊 葵（2019-1、日本語教師、ブラジル）	13:00 ～14:00	協力隊終了後の進路：開発コンサルタント＆公務員 高梨直季（H22-4、村落開発普及員、PNG） 石井和由（H20-3、観光業、タイ） 井上洋輔（2017-2、スーダン、2019 短期、東ティモール、障害児・者支援）
14:00 ～15:00	派遣中隊員と OB 隊員との対談会： 鈴木拓馬（2019-2、柔道、カンボジア） 高橋克彰（H13-1、SE、シリア）	14:00 ～15:00	協力隊終了後の進路：船橋市議会議員 石川　亮（H16- 、村落開発普及員、ケニア）
15:00 ～16:00	協力隊終了後の進路：大学教授 成瀬 猛（S52-1、土木施工、シリア）	15:00 ～16:00	協力隊終了後の進路：JICA 職員 平澤昭雄(S43-2、稲作、フィリピン) 浜田眞一（S51-2 前、測量、ケニア）

2）会計概要報告

令和 2 年度の会計決算については、下記の通りとなりました。

＜収入＞

会費・エッセイコンテスト 2020 の委託費等　　合計 396, 175 円

＜支出＞

会報発行・エッセイコンテストの経費等　　合計 470, 565 円

＜当期収支＞

74, 390 円の赤字

3）2021 年度活動計画

2021 年度も前年度同様、新型コロナ感染症対策のため、諸活動計画に影響が出ています。主な活動計画は以下のとおり（7 月末時点）。

月	内　　容	
4	協力隊まつり 2021　（4/24,25）　＊下表参照	オンライン開催（国内外接続者 2,600 名以上）
6	JOCV ナビ　(6/26)	浦安市国際センターにて開催
8	会報(No.99)発行	浦安市国際センター
9	JOCV ナビ　（9/25）	浦安市国際センター
	定例会　（9/25）	浦安市国際センター
9～10	JICA エッセイコンテスト 2021	
10	松戸市国際文化祭（10/24）	松戸市民会館
	JOCV ナビ（10/23）	浦安市国際センター
	『国際化教育推進フォーラム in 野田』（10/30） 後援：野田市教育委員会（承認：令和３年７月） 後援：(独)国際協力機構（承認：令和３年８月）	野田市 欅のホール（小ホール）
11	JOCV ナビ（11/27）	浦安市国際センター
	定例会（11/27）	浦安市国際センター
12	JOCV ナビ（12/25）	浦安市国際センター
1	JOCV ナビ（1/29）	浦安市国際センター
	定例会（1/29）	浦安市国際センター
	会報(No.100)発行	浦安市国際センター
2	JOCV ナビ（2/26）	浦安市国際センター
3	JOCV ナビ（3/26）	浦安市国際センター
	定例会（3/26）	浦安市国際センター

4）イベント　『国際化教育推進フォーラム in 野田』（10 月 30 日）

日本は現在、空前の災禍（コロナ禍）に襲われており、外国との人の往来も制限されていますが、やがてワクチンが行き届いた暁には、再びグローバル化の波が押し寄せてくると思われます。地方自治体も在留外国人が増えれば、日本人との調和的な社会の創出に尽力する必要性が高まることは明白で、その際には住民への啓発や協力要請が不可避になることでしょう。

国際化教育とは、異文化や多様性への寛容な精神を育成することであり、難しい知識を学ばせる事ではありません。大きな視野で物事を見る目を育成しようとするものです。その為に、青年海外協力隊に参加経験のある千葉県在住者の我々が、国際化教育の必要性について、教育者の皆様や児童・学生達と話し合う機会を設けさせて頂くものであります。

フォーラムは三部構成で行う予定であり、第一部は『地球のステージ』、第二部は地球のステージの公演者である桑山紀彦医師と野田市にある西武台千葉中学・高等学校の学生達とのトークセッション、第三部では青年海外協力隊の経験者と野田市内の教育関係者との国際化教育の必要性や効果を論じ合うパネルディスカッションを予定しています。

『地球のステージ』を見た、教育関係者や子供達が感動するのは、世界と云うスケールの大きさや、様々な人間の生き様を目の当たりにして、自分達の日常が如何に狭いものかに気付かされ、国際的な視野が広がると同時に、人間社会の中で『幸せ』とは何かを考え直す機会になるに違いありません。

敢えて、野田に置き換えて考えれば、野田の国際化（国際教養の涵養）を促す一助となり、子供達の情操教育（社会や人の役に立つ自分を想像させる切っ掛け）や学習意欲の向上に役立ち、ひいては、野田市の文化レベルを向上させるものに繋がると期待しています。

今回、このフォーラムを行うことにより、青年海外協力隊参加経験者が地域に於ける国際化に大きな貢献をすることが出来ると云うアピールとなり、それが千葉県のみならず全国の青年海外協力隊 OB 会の活性化に繋がることを期待しています。

3. 現地活動レポート（派遣中隊員寄稿）

2019-3　山崎　鉄平　カンボジア　体育教育　館山市

チョムリアップスオ！（はじめまして！）カンボジアに体育教育で派遣されている山崎鉄平と申します。任国には2021 年 1 月に派遣され、早くも半年となります。本来であれば昨年の 3 月に派遣予定でしたが、コロナウイルスの影響で延期となり、カンボジアへの派遣が１月となりました。今回の状況を受け、二本松訓練所で共に過ごした方々との同時期の派遣は叶いませんでしたが、少しでも明るい話題を届けられればという気持ちで日々を過ごしております。

私の活動先は首都であるプノンペンのボントラバエク中学校という学校です。こちらの学校には、体育授業の普及、発展に寄与するべく派遣されました。7 月時点でのカンボジアの学校の様子ですが、全ての学校は対面授業の代わりにオンライン授業が行われています。しかし、体育授業に関しては授業の優先度が低く、さらに授業には動きが伴う為、この教科のオンライン授業は行われていません。幸いなことに、カウンターパートの先生は毎日学校に来るので、色々と相談しながら学校の環境整備を行うことが出来ています。例えば、学校の草刈りや庭の掃除等です。生徒が来ない間も学校環境の維持をしなければならないので、カウンターパートにお願いされることもあれば、自分で掃除しなければならない場所を見つけて行っています。本題の体育設備ですが、初めて学校の敷地内を見学した時に、ほとんどの体育設備が使用出来ない状況になっている光景を目の当たりにしました。ネットがないバレーボールコート、リングが壊れたバスケットボールコート、雑草に埋もれてしまっている鉄棒といったように、体育の授業が出来たとしても、満足のいくような授業とは程遠い現状があります。

今回の学校の休校を受けて、最初は授業が行えない現状に落ち込みましたが、逆にこの期間だからこそ、ゆっくり時間をかけて学校環境の課題を見つけられたことはプラスに感じています。また、6 月には地域おこし協力隊として活動している同期隊員の方と連絡を取りあい、熊本の小学校とオンライン授業を開催することが出来ました。授業ではカンボジアで売っている食べ物や飲み物を実際に見せたり、現地の街の現状や学校の様子を紹介したりしたのですが、子どもたちが興味をもって聞いてくれたことは非常に嬉しかったです。僕の出身は千葉県館山市ですので、この２年の期間で一回は地元の学校ともオンラインで繋がることができれば、また活動も深まるのではないかと考えています。

最後に、コロナ禍での海外生活ということもあり、家族やお世話になった先生方、友人から心配されることがあるのですが、自分なりに楽しみを見つけて、前向きに生活を送ることが出来ています。健康や安全に留意しつつ、今後も幅広く活動を行っていこうと思います。

2019-2　鈴木　拓馬　カンボジア　柔道　千葉市

私が活動しているオリンピックスタジアムは、1964 年に首都プノンペンに建設された歴史ある公共施設です。敷地内にはサッカー場やテニスコート、水泳プールや武道場といった様々な施設があります。日本ではあまり馴染みのないスポーツであるペタンクのコートもあります。ペタンクはフランス発祥の球技で、カンボジアがかつてフランスの支配

下にあったことから、その影響受けて盛んになったものと考えられます。このスタジアムは国際大会での入賞を目指すナショナルチームの選手だけでなく、仕事終わりにひと汗かきに来る大人たち、日陰に座り込んで談笑する子どもたち、誰もが自由に出入りし利用できるプノンペン市民憩いのです。残念ながら新型コロナウィルス感染症の拡大によって現在は閉鎖され、感染者の収容施設となっています。事態が収束し、一刻も早くスタジアムがかつての活気ある姿に戻れる日が来ることを願っています。

私はカンボジア柔道連盟の指導員として、スタジアム内の道場でカンボジア代表選手を対象に指導を行っています。カンボジアには学校教育で体育が後回しにされてきた歴史があると先輩隊員から聞いていたので、柔道の技や礼法だけでなく、基本的な体の使い方・動かし方まで丁寧に指導するように気を付けています。些細なことかもしれませんが、こうした小さなことの積み重ねが彼らの成長の土台となり、また後任隊員の活動の助けになると信じています。

一月末に開催された全国大会では、初心者ながら私の指導についてきてくれたある練習生が、その大会の優勝選手を足払（あしばらい）で投げていました。勝つことはできなかったものの、短期間でもしっかりと成長した姿を見せてくれたことに感激しました。しかし二月にカンボジア国内のコロナ感染者が急増し、教育機関やスポーツ施設は閉鎖に追い込まれたことから、私たちは集団・対面稽古を止め、その後ウェブ会議サービスを利用した指導に切り替えました。練習生たちはスマートフォンを使って自室や庭から稽古に参加しています。置いたスマホから遠く離れたところで黙々と稽古する者、指導員の話を逃さず聞こうと画面いっぱいに顔を近づけている者、積極的に質問する者もいて、それぞれ態度が違っていて面白いです。これは対面で稽古していた頃には気づけなかったことです。不自由な状況下でも彼らが柔道を楽しめるよう、今後も試行錯誤を続け努力していきます。

【代表選手もそうでない者も一緒になって稽古しています】

【技「体落」の指導の様子です】

2019-3　古矢　恵　ヨルダン　障害児者支援　松戸市

[隊員活動に関する事]

当初私が配属される予定だった所は、クフランジャという地方を予定していました。しかし、コロナの影響を受け、隊員の安全を第一に考えてくださった JICA の方より、医療体制や緊急時の対応を踏まえ、隊員活動については当面は首都アンマン近郊に限定する必要があるとの連絡を頂き、配属先変更がありました。

正直、不安な気持ちはありましたが、幸いにも派遣されていたわけでもない、どこに配属されてもーからのスタートだと切り替えヨルダンにやってきました。私が派遣される予定の施設は 5 歳から 20 代前半を中心とする軽度から中程度の知的障害児・者の通う施設です。先日、事前訪問で派遣先に伺いました。緊張してガチガチに固まる私にも皆さん

親切に対応してくださったのが印象的でした。配属先で自身の能力をどう生かしていくか考えなければいけませんが、まずはコミュニケーションを図っていかなければいけないと思っています。

[任国に関する事]

中東はニュースなどで聞く情勢の影響もあってか、怖い国、暗いイメージという印象でしたが、実際に生活していく中で感じたことは人情味あふれる親切な方が多く、良い意味でイメージが覆されました。果物や野菜も豊富で、スパイスやハーブも日本より多くあるので目移りしてしまいます。コーヒーにもカルダモンというハーブを入れて飲みます。アラブコーヒーは鼻に香りが抜けてすっきりとした味わいがあります。しかし、このすっきりとした味わいが台無しになるのではないかというくらいの砂糖を大量に入れるのがヨルダン流のようです。私は砂糖なしで美味しくいただいています。

ヨルダンに来てから、日本では考えられない数の掲揚された国旗に遭遇し、その数にはじめは圧倒されましたが、アンマン城跡から見える巨大なヨルダン国旗とアンマンの街並みには感動しました。

[その他]

派遣先にはまだ配属されていないため、青年海外協力隊らしい活動は始まっていませんが、オリエンテーションや語学学習などの準備に時間を充ててきました。

語学については訓練所の修了式が終了してから時間が経過してしまい、あまり語学の勉強をしてこなかったので、大変な思いをしています。また、訓練所で学んだ内容を１年３カ月の間に忘れていることも多く、協力隊として意識する必要のあることを改めて学ばせていただきました。訓練から１年以上経過してから派遣されるという特殊な状況ではありますが、コロナ感染対策をしながら隊員としてできることを模索していきたいと思います。

【ハーブ・スパイス
アンマン市内にあるハーブとスパイスを販売していたお店。
店の前を通るとマスクをしていても香りが漂っていました。】

【ヨルダン国旗
アンマン城跡より一望できる長いポールと
大きなヨルダン国旗とアンマンの街並み。
丘の上にあるため見晴らしは最高です。】

2019-3　松岡　怜奈　ルワンダ　理科教育　千葉市

Muraho（こんにちは）！私は、ルワンダに理科教育隊員として派遣されています。コロナ禍での活動となり、不安と期待を抱きつつ、１年以上の待機期間を経てようやく着いたルワンダ。まず、驚いたのがマスク着用や手洗い・アルコール消毒が徹底されていることでした。ショッピングセンター、学校、レストランといった多くの施設の入口には、手洗い場やアルコール消毒液が設置されていります。また、入口には検温をする方がいる場合が多く、基本的な感染対策をしている印象を受けました。バスの乗車率に関しても、ルワンダ政府が決めた割合を厳守しており、乗車しようとした際に、満員だからと止められる、もしくは通過されるといったことも何度かありました。ルワンダに来て約２か月が経過しましたが、首都でも任地でもコロナ禍によるアジア系の人々への差別的な言葉はなく、真面目に感染対策に取り組む姿を見て安心しました。

私は今年の５月にルワンダに到着後、約１ヶ月間の語学訓練を経て、６月中旬に首都キガリから車で２時間ほど離れた南部県ムハンガ郡にある教員養成校に配属されました。首都と比べて、とてものどかで、自宅から配属先への道は牛、ヤギ、豚、鶏など様々な家畜がいます。こうした動物のフンが至る所にあるため、踏まないように気を付けながら配属先へ向かう日々です。

私が赴任した時、既に学校では学期末テスト期間で、テスト後は長期休みに入ってしまい、赴任１週間後には生徒のほとんどが寮生のため、この長期休みに帰省しまうという状況になりました。そのため、ルワンダの授業の様子に関してはまだわかっていませんが、見えてきた課題もあります。配属先には理科室もなく、実験器具は図書室の片隅に埋もれて、その多くが梱包されたまま使われた形跡がありません。また、化学、生物、物理の器具がごちゃまぜになった状態で放置されており、実験を取り入れた授業をする機会が少ない印象を受けました。現在は、この器具の整理・整頓を行い、持っている器具でどんな実験を紹介できるか考えているところです。

例年は９月から新学期が始まりますが、新型コロナウイルスの影響で予定通りになるかわからない、と言われています。いつ開始になっても問題ないように、この長期休み期間にできる実験の準備に取り組みたいと思います。そして、新学期がスタートしたら、多くの生徒に実験の楽しさや器具の取り扱い方法などを伝えられることを楽しみにしつつ、生徒が元気に学校に戻ってこられるように願っています。

【新型コロナ対策として設置された配属先の手洗い場】

【図書室の片隅にひっそりとある実験器具】

4. 会員レポート

平成 19-4　上橋　しほと　カメルーン　幼児教育

私は幼児教育隊員としてカメルーンに 2010 年 3 月まで赴任していました。任期中に活動言語であったフランス語やアフリカ大陸に魅せられ「これからも国際協力を続けていきたい！」という気持ちになって帰国し次の進路を探し始めましたが、人生そんなに甘くはなく、アルバイトなどを転々とする日々が長く続いていました。しかし 2015 年の夏に埼玉県比企郡小川町に事務局を置く「NPO ソーラーネット」という団体と出会いました。当時ソーラーネットは「IOM（国際移住機関）が支援しているチャド共和国の帰還難民に対しソーラーパネル製作技術及び設置・保守管理技術の移転を施し、難民たちの自立を目指す」というプロジェクトを行っており、フランス語のできる人材を求めていました。国際協力の仕事がしたかった私は「やらせてください！」と志願し、NPO の代表も「技術という物はその気さえあれば何歳からだって身に着けられる。フランス語ができる人材を求めていました。」と話してくださって、晴れて NPO の一員となることができました。私は自身の専攻分野を幼児教育から電気工事に鞍替えし、その勉強・実務経験を重ね始めました。

そして本邦研修だったり我々がチャド入りしたりする形で、帰還難民たちにソーラーパネル関連の技術移転講習をしていきました。チャドの内戦時に祖国を追われた後に、逃れていたその国まで情勢が悪化してしまい 2 度目の難民避難として祖国チャドに帰ってきたという境遇を抱えていたのが帰還難民です。度重なる悲劇に遭った彼らは笑顔を失っていましたが、ソーラーネットが移転する技術をもとに手に職を付けられて、自信と笑顔をどんどん取り戻してきていました。そして「さぁここからプロジェクトをさらに展開していこう！」と、日本側もチャド側も思っていたのですが、そこから予算面などで話がこじれ始めてしまい、プロジェクトが断ち切れ、ソーラーネットとチャドの帰還難民たちは生き別れてしまう結末となってしまいました。

チャドプロジェクト終了後のソーラーネットは新しい海外プロジェクト立案を目指しましたが全く立ち上げられず、追い打ちをかけるように新型コロナの世界的パンデミックが起きて、私は NPO ソーラーネットを辞めるという道を選び、2021 年 4 月に生まれ育った柏市に帰ってきました。最近は流山市の幼稚園に勤めながら（まるで帰還難民のように）、柏市議会議員になりたいと思い、政治活動を始めたところです。私の実父が柏市議であり幼少期からその姿を見続けてきて「私もなりたい」と思うようになってまいりました。その父の活動・意志を継ぐこともありますが、それに加えて JOCV や NPO で得られた国際協力経験の還元も自身の政治活動を通して柏や千葉県の方々にしていきたいと思っています。これからも精進してまいりたいと思います。

5. 年会費納入のお願い

当会の会報は派遣中隊員と帰国隊員の寄稿、並びに報告事項などで構成され、年に２回（夏号、冬号）を発行しています。この会報の発行が当会の支出費目として大きなウェイトをしめています。また、2021 年度は『国際化教育推進フォーラム in 野田』（10 月 30 日）を開催するため、更なる支出が予定されています。

そのため、2021 年度は JOCA の共同事業費・交流事業費のみならず JICA の支援経費を申請していますが赤字決算になりそうな状況です。つきましては、当会運営の生命線である「年会費」のご協力をお願いします。２口以上のご支援も大歓迎です。

年会費は 1 口「1,000 円」です。当会運営の生命線は「年会費」ですので、引き続きご協力いただくようお願いします。

尚、振込にあたっては「派遣国」と「隊次」を必ずご記入ください。

☆振込口座は以下の 2 行のどちらかにお願いします。

銀行名	：ゆうちょ銀行（当座預金）	銀行名	：三菱 UFJ 銀行 船橋駅前店
店番	：029（ゆうちょ以外からの振込用）	記号/口座番号	：（普）4769024
記号/口座番号	：00290-1-96562	名義人	：青年海外協力隊千葉 OB 会
名義人	：青年海外協力隊千葉 OB 会		

6. 青年海外協力隊千葉ＯＢ会規約

これまで掲載する機会が得られなかった当会の規約ですが、今回は紙面の確保が出来たため掲載いたします。当会がどのような規約に則り運営されているかご一読いただけると幸いです。

第１章　総則

第一条　1. 本会は「青年海外協力隊千葉ＯＢ会」と称する。

2. 事務局を　市川市　西村邦雄　方に置く。

第二条　本会は、会員相互の親睦を図り、協力隊事業への参加と援助を通して地域社会との連携を取りつつ、国際理解を深めることを目的とする。

第２章　会員

第三条　本会員は、正会員と賛助会員を持って組織する。正会員は協力隊 OB/OG で、千葉県在住・在勤の者とし、賛助会員は本会の主旨に賛同し、協力する者とする。

第３章　総会

第四条　本会は、決議機関として総会を置き、役員及び会員が必要と認めた時に会長がこれを召集し、会務の報告、役員の選出、規約改正、その他必要な事項の決議を行う。

第４章　役員

第五条　本会に次の役員を置き、会務の執行を行う。

会長１名、副会長若干名、事務局長１名、事務局次長１名、会計１名、会計監査１名、地区担当者各１名、書記２名、広報２名とし、サポーターを必要数置くものとする。

1. 会長が職務を遂行できない場合は、副会長等定められた順位（注）で会長代行者を置き、会長代行者が会長職務を代行する。
2. 会長は公益社団法人青年海外協力協会の評議員を兼ねるものとする。
3. 役員は必要に応じて役員会を開くものとする。
4. 役員の任期は２年とし、再任を妨げない。
5. 役員の重複は、会計監査以外はそれを妨げない。

（1 項注）会長代行者の定められた順位とは、総会で決定された役員名簿記載順位を言う。

第５章　会計

第六条　本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

第七条　本会の会計年度は、４月１日に始まり翌年３月 31 日に終わる。

第６章　補足

第八条　　本規約の改正追加は総会で行うものとする。

第九条　　本会の会費は年額 1,000 円とする。

第十条　　本規約は、平成７年２月 26 日より施行する。

改変履歴

平成 17 年４月 24 日一部改正施行。

平成 21 年４月 18 日一部改正施行。

平成 22 年４月 24 日一部改正施行。

平成 24 年３月 24 日一部改正施行。

平成 25 年４月 13 日一部改正施行。

平成 29 年４月 15 日一部改正施行。

青年海外協力隊千葉ＯＢ会運営細則

第一号　賛助会員は、役員会の推薦により、総会で認められることを必要とする。

第二号　千葉ＯＢ会の存続、解消に関する決議、会費の値上げに関する決議等重要と思われる案件については、役員会の総意と総会での決定を必要とする。

第三号　会費の運用については、主として連絡通信費に使用されるものとする。

第四号　会員の家族の入会を認め、賛助会員とする。この場合、年会費は免除されるものとする。

7. 編集後記

会報 No,９９の発行は８月下旬を予定しておりましたが、コロナ禍における４回目の緊急事態宣言が発令されたことに伴い、発送作業場所の浦安市国際センターが利用できなくなっております。そのため、８月下旬から９月初旬に発送作業を行う都合上、皆さんのお手元に届くのは９月中旬頃となります。ご理解の程よろしくお願いします。

変異株の蔓延によって急激に悪化しているコロナの状況に危機感が煽られる日々の中、万が一を想定した準備と自分だけでなく周囲の人の安全のためにも慎重な行動を心がける必要があると考えています。とはいえ仕事の都合上、都内に通勤しなければならない日もあるため、戦々恐々としながら時々電車を利用しています。平時の通勤であれば、色々と発見があるため楽しめますが、この状況下では不安を感じてしまいます。これほど長引くとは予想できませんでしたが、コロナによって出掛けられないからこそお部屋のお片付けなど後回しにしていたことが進みました。少し荷物の減ったお部屋に満足感を感じたり、あまりに多い紙類を前に自分の保管癖に困ったり、なかなか変化や気付きの多い日常生活だと感じています。2018 年の帰国時に郵送したウズベキスタンの生地や糸が眠るケースなど自業自得な物の山を前に、コロナと自分の片付けとどちらが先に終息するのだろうかと考えてしまいます。

（平成 27-3　ウズベキスタン共和国　PC インストラクター　高石　千絵）

～お知らせ～

ホームページのご紹介

新ホームページはまだまだコンテンツが少ないので、掲載する内容など募集中です。地域での国際交流活動など、なにかネタがあればご連絡ください。

URL は下記ですが、「青年海外協力隊千葉 OB 会」で検索していただくことでもアクセスできますので、是非ともご覧ください。

青年海外協力隊　千葉 OB 会　ホームページ：　https://jocvchiba.org/

メーリングリスト／Facebook グループのご案内

上記ホームページにて、当会のメーリングリストと Facebook グループへの参加をご案内しております。
是非ご参加ください。